

しらかば

No.571号

令和8年(2026年)3月25日

<https://www.maedachuo-e.sapporo-c.ed.jp>

かけがえのない今を

学校長

3月23日、95名の卒業生が本校を巣立っていきました。卒業式では次のような言葉を贈りました。

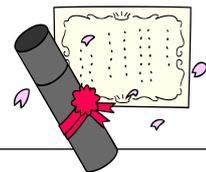
第39回 卒業証書授与式 式辞(要約)

柔らかな風が感じられるこの朝、手稲山を望むこの町にも、季節は春へと移ろい始めています。本日、前田中央小学校を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございます。さて、皆さんを送り出すにあたり、一つの詩の一節を紹介します。

「最後だとわかっていたなら」

もし今日が最後になるとわかっていたなら、あなたはどのようにするでしょう。いつもの一日が、もう二度と同じようには訪れないとしたら。そんな問いが心に残ります。友達と笑い合うこと、温かい給食を囲むこと、何気なく過ぎていく一つ一つの時間。その一つ一つは、今しかない時間です。あの日、私たちはそれを知りました。東日本大震災から15年が経ちました。

当たり前が続くと思っていた日常が、決して当たり前ではないことを、私たちは突きつけられました。あの日で時間が止まってしまった人たちと、こうして今日を迎えている私たち。この差、この重みを、今日という日に心にとどめたいと思います。本校では、「真ん中に思いやりがある学校」という言葉を大切にしてきました。思いやりとは特別なことではありません。いらいらしたときに、きつい言葉をぐっと飲みこむこと。一人で頑張っている人に気付き、手を貸すこと。その一つ一つが思いやりのある行動です。皆さんはこれから、分かることが増え、できることが増え、自分で考え、選び、決めながら歩んでいきます。人生には、そんなおもしろさと希望があります。これから出会う困難も、あなたの歩みを止めるものではなく、次の一步を踏み出す力になるはずです。皆さんの未来は、22世紀へと続いています。さあ、前を向いて歩き出しましょう。心から応援しています。



在校生にとっても、今という時間は、かけがえのないものです。一日一日を大切に積み重ねていってほしいと思います。

本年度も、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に温かい御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。